



Global Leadership Training Programme in Africa

アフリカでのグローバル人材育成事業



🔍 事業概要

派遣先は国連大学のアフリカにおけるパートナー大学や研究機関で、以下の8大学が受入候補の提携大学になります。日本で在籍している大学院との提携校への派遣も可能です。

- University of Cape Town (South Africa)
- University of Zambia (Zambia)
- Kenyatta University (Kenya)
- University of Nairobi (Kenya)
- University of Ibadan (Nigeria)
- University of Ghana (Ghana)
- Kwame Nkrumah University of Science and Technology (Ghana)
- University for Development Studies (Ghana)

現地研修後には、成果報告会を行い体験と教訓の共有を図ります。

📄 応募書類 (HP からダウンロード)

- Application Form (日本語)
- Research Plan (英語)
- 指導教員からの推薦書 (様式自由)

📧 問い合わせ先

国連大学サステナビリティ高等研究所

〒150-8925

東京都渋谷区神宮前 5-53-70

今井夏子 E-mail: imai@unu.edu



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) は、東京を拠点とする研究・教育機関です。UNU-IAS の使命は、サステナビリティとその社会的・経済的・環境的側面に注目しながら、政策対応型の研究と能力育成を通じて、持続可能な未来の構築に貢献することです。

アフリカでのグローバル人材育成事業

アフリカが抱える諸課題の解決に、国際機関や NGO の職員としてグローバルに貢献できる人材育成を目的に、日本人の大学院生をアフリカ各国の大学や研究機関に派遣し、自らの修士・博士研究の遂行や、派遣研究機関が実施するプロジェクトへの参加を通じた実践的な研究訓練を行います。派遣対象者と期間（調整可能）は以下となっております。



- 日本の大学院に在籍する日本人大学院生
- 修士課程在籍者：2～3か月
- 博士課程在籍者：3～6か月

これまでの派遣国と大学

- ① セネガル：開発研究所
- ② ガーナ：ガーナ大学
- ③ ケニア：ナイロビ大学 ケニヤッタ大学
- ④ ザンビア：ルサカ大学
- ⑤ 南アフリカ：ケープタウン大学



学生が取り組んだ研究テーマ例

- Climate change adaptation in Senegal
- Adaptation Finance for Climate Change in Senegal
- Current Situations and Functions of Lesson Study Discussion in Zambia: A Case of Secondary Schools in Solwezi District
- Filling Gaps for Scientists: New Roles of Research Activities in Climate Adaptation in Ghana
- The Research on CO₂ Emission Reduction Measures in Platinum Production Process — Case Study of South Africa's Largest Platinum Producer, Anglo American Platinum
- Reverse Engineering Model of Mobile Micro Finance Service in Kenya

UNU-IAS のサイトから、当事業の詳細、成果報告会の様子、研修生の最終報告書が閲覧できます。

www.ias.unu.edu

研修生の声

2014年1月から2ヶ月間、ザンビア共和国にて学校における授業研究の実態を調査しました。GLTPより、渡航費、現地生活費等の費用を全面的に支援して頂いたおかげで本調査を行うことができました。また、現地大学の教授を指導教員として繋いで頂いたおかげで滞在期間中、定期的に調査報告を行い、アドバイスを頂き、修正を加えながら調査を進めることができました。心強いバックアップ体制のおかげで有意義なフィールドワークを行うことができ、本当に感謝しております。



中里春菜さん(博士課程)

2014年1月から二ヶ月間



大橋祐輝さん(修士課程)

2014年3月の二週間

私は2014年の3月、ガーナにおける気候変動への適応において、学術研究が果たす新たな役割についてリサーチを行うため、二週間に渡ってガーナに滞在しました。その間、ガーナの国連大学アフリカ自然資源研究所を拠点にし、研究者や政策担当者を対象にしたインタビューやコミュニティでの聞き取り調査を行い、多くの貴重な発見を得る事ができました。このような機会を与えてくれたGLTPをはじめ、調査に協力して下さいました全ての方々に感謝したいと思います。

私が滞在したセネガルは、最貧国に位置づけられながらも、イスラム教の大家族制度や相互扶助の精神が根付いており、精神的な豊かさを学ぶことができました。また、世界各国から集まる友人達とつながりができたことは、帰国後も研究を進める上で大きな刺激とモチベーションになっています。日本とはまったく異なる文化や価値観に直面することもあるかと思いますが、多様性に触れ、視野を広げ、研究上の問題意識を深めることのできる貴重な機会だと思います。



池田まりこさん(博士課程)

2014年3月から二ヶ月半